

# 保科アカデミー室内管弦楽団 創立15周年記念特別演奏会東京公演

チャイコフスキー  
交響曲第6番ロ短調『悲愴』

保科 洋  
『風紋』[原典版]管弦楽版(関東初演)  
『管弦楽のための変奏曲』

指揮:保科洋・秋山隆

2009年8月29日(土) 18:30開演(17:45開場)

すみだトリフォニーホール 一般2000円/学生1500円(前売500円引)

保科アカデミー室内管弦楽団三回目の東京公演は、満を持して『悲愴』!  
今を遡ること四十年。メンバーの出身団体、岡山大学交響楽団にとって『悲愴』は憧れの難曲でした。しかし、選曲の結果、指揮者保科洋の冷たい一言が。  
『お前等、悲愴なんて、これから全員本番迄腕立て伏せでもして体力付けなきゃ絶対ムリ!!』  
翌日、保科が練習に行ってみると、団員が全員本当に腕立て伏せをしておりました……  
筋トレは本番まで続き、保科もついに折れ、本番は見事大成功したとのこと。  
今では大学オーケストラ大会で第1位を獲得するまでに発展した岡大オケのスポコン的情熱、『成せば成る』で文字通り不可能を可能にしてしまう無茶苦茶な信念(失礼!)は、こうして産声を上げたのでした。

『悲愴こそ、もっともアカデミーらしさが出せる曲』とは、常任指揮者秋山の言。  
短いフレーズの一つ一つを『この音符はどう演奏されるべきか』と、団員全員が文字通り楽譜の端から端まで一音一音解析し、目指す音を揃える。  
その結果生まれるサウンドの驚くべき美しさを、どうぞ体験して下さい!  
過去の演奏会の演奏はYouTubeで放送中です。以下のページからどうぞ!  
<http://www.youtube.com/user/HoshinaMusic>

今回は吹奏楽ファンの皆様にも楽しめる、『風紋』『変奏曲』もプログラムに入っています。  
(変奏曲の終曲は、『Lamentation to-』として吹奏楽版にアレンジされています)  
更に、アカデミーがどのように音楽を創っているのかを実感していただくため、来場者の皆様全員に特典として、保科洋の書き下ろし小冊子『悲愴/風紋アナリーゼ&演奏法(仮題)』を差し上げます(非売品)。どうぞご期待下さい!

抽選で30組60名様をご招待致します!詳しくは以下のホームページにて。

<http://www.concertsquare.jp/blog/2009/200906015.html> (コンサートスクエア)

前売券申込&演奏会問合先

<http://www.hoshina-music.com/academy2009/>

mail : [academy2009@hoshina-music.com](mailto:academy2009@hoshina-music.com)

Tel & Fax: 086-253-3703(秋山)